

第5次地域福祉活動計画 in 所沢～ところ WITH プラザ～（素案）
に対する「ご意見と策定にあたっての考え方」

令和3年2月に実施しました「第5次地域福祉活動計画 in 所沢～ところ WITH プラザ～（素案）」への意見募集につきまして、皆様から寄せられたご意見の内容とご意見に対する策定にあたっての考え方を公表いたします。

ご意見をいただきました皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

1 意見募集の概要 (1) 募集期間 令和3年2月18日（木）～25日（木）

(2) 意見受付方法 直接持参、郵送、FAX、電子メール

2 意見 (1) 応募件数 4件

(内訳) 直接持参0件、郵送0件、FAX0件、電子メール4件

(2) 意見総数 21件

(内訳)

項目	件数
1 計画策定にあたって（P4～9）	1
2 計画の概要と推進（P10～13）	4
3 計画の体系と活動方針（P14～23）	12
4 その他・全般について	4

(3) ご意見と策定にあたっての考え方

No	頁	対象箇所	ご 意 見 (要 旨)	策定にあたっての考え方
1	4	計画策定の背景	ポイントにも掲げている「人口縮減社会」について、所沢市の状況、今後の見通しの具体的な数字が示されると、より一層、我が事として受け止めやすくなるのではないかと。P8では、高齢化や出生数について触れられていますが、「人口縮減社会」において、どのような不安やリスクがあるのか示されると、より具体的なイメージができ、伝わりやすいのではないかと。	P8での説明の他、P16の「現状と課題」にも掲載しております。
2	12	重点項目の設定	16項目の「活動方針」がここで初めて出てくるが、「16項目の活動方針とは」と前の頁を見直してしまう為、「p.15 参照」といった補足を入れてほしい。	該当箇所に「(P15 参照)」と加えます。
3	12	重点項目の設定 活動方針⑤ ICTなどによる 福祉情報の発信と 活用	活動方針⑤の指標「ボランティア情報配信サービス登録者数」とは、具体的にはどの配信サービスの登録者数なのか。メール、LINE等複数の配信サービスがあると思うが、その合計登録者数なのか。所沢市地域福祉計画との共通項目のため、数値の設定がどのように行われたのかわからないが、数値の提示だけでは、福祉情報の発信をしてそれを地域福祉活動にどのように活用・機能させていくのかの見通しが感じられない。活動方針⑦、⑨も同様で、状況の説明が行われ、数値が示されているだけのように感じられ、その状況に対する取り組みとして、そのニーズへの対応をどのように取り組む考えをもって計画の数値を示しているのかが伝わらない。	「ボランティア情報配信サービス登録者数」につきましては、メールとLINEによる配信登録者数となっております。発信側だけでなく、「受け手」の状況についても、何かしらの形で検証していきたいと考えております。進行管理における評価の際には、指標だけでなく、その他の様々な取り組みについても地域福祉活動推進会議にて検証していきます。

4	12	<p>重点項目の設定 活動方針⑦ 生活困窮者や 社会的孤立への支援</p>	<p>市の地域福祉計画にある指標を採用したと思うが、生活困窮者が減れば相談件数も減り、SOSを出せる人が増えれば相談件数は増える。目標値はこの双方の支援の結果なので数値が減少することは問題ない。ただし、推計にあたって、人口や単身世帯数の推移、生活困窮率やSOSを挙げられる人の割合の増減などをどのように設定したのか教えてほしい。</p>	<p>市計画と共通した指標とし、令和元年度実績から将来人口の増減率を基に算出しておりましたが、所沢市に確認したところ、第3次所沢市地域福祉計画に記載予定であった指標（本計画・活動方針⑦の指標と同じもの）について、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予測が困難であるため、本計画策定時における目標値の設定は見送る」との回答があり、本計画の推進においても、この指標の設定は進行管理を行う上で非常に大切な事であり、最終案P12に記載予定であった各活動方針の指標については削除させていただき、今後の推進会議や作業部会において、各活動方針の指標について協議していきたいと考えております。</p>
5	13	<p>所沢社協 CSWの役割 ・取り組み</p>	<p>地域福祉において重要な存在であるCSWだが、意識調査で認知度が低いことが明らかになっていることを考えれば、多くの市民に読んでもらえるこの計画書の中で、CSWの人物像や仕事をイメージしやすい形で示すと良いのではないかと。具体的な成果については毎年「活動報告書」を出していること、「C困った時のS相談はW私たちに」とか「ささえる つながる みつけだす」といったキャッチフレーズを出すことだけでも印象に残るのではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、該当箇所にてキャッチフレーズや写真を掲載し、イメージしやすい内容にしたいと考えております。</p>
6	17	<p>活動方針③ 地域の中で気軽に 相談できる場や</p>	<p>ここに限らず、具体的なとりくみを行う主体は誰なのか（社協、または推進会議がとりくむ）がわからない。活動方針③の場合、社協が自前で“場”を増やしたり“情報提供”するのか、地区ごとにCSWが関係</p>	<p>「具体的なとりくみ」につきましては、社協や地域福祉活動推進会議だけでなく、P5「みんなでつくる地域福祉のイメージ」にあるように地域全体で取り組む</p>

		機会の拡充	組織（町内会・民児協・その他地域団体、NPO 法人等）に働きかけて実現に向かうのかなど。	ことにより、成しえるものと考えております。
7	17	活動方針③ 地域の中で気軽に相談できる場や機会の拡充	活動方針③「地域の中で気軽に相談できる場や機会の拡充」の具体的なとりくみに書かれている「地域の関係機関・団体」や「地域にある相談機関や支援機関等」について、具体的に例示することは難しいのか。社会福祉法人、NPO、ボランティア団体、行政機関など、いくつか例示があると伝わりやすいとともに、取り組むときに意識することができるのではないかと。素案の記述では伝わりにくく、取り組むにも漠然としているような気がする。	P5の「みんなで作る地域福祉のイメージ」にある関係機関・団体を想定しており、一部箇所には、いくつか例示しておりますが、紙面スペースの都合上、全ての箇所には例示しておりません。
8	17	6年後のめざす姿	活動方針③では「場や機会の拡充」となっていますが、めざす姿では「場所」だけになっている。しかも「整備され」と続くので、物理的な場所、施設のように捉えてしまい、場所があっても人や機会がないとうまく回らないのではと危惧する。	該当箇所を「気軽に相談できる環境が整備され」に修正いたします。
9	18	活動方針⑤ ICT などによる福祉情報の発信と活用	新型コロナウイルス感染症の影響から、地域福祉活動も新しい生活様式に基づく活動が求められるようになった。ICT の活用はますます重要になると思われる。メール、LINE、YouTube に加えて Facebook、twitter、Instagram などによる情報発信も検討してほしい。近隣市の狭山市社協、東京都東村山市社協では、Facebook により活発な情報発信が行われている。Facebook の地域コミュニティ「フェイスブック 所沢会」は会員数 4,765 人で、日々活発な情報交換が行われており、同コミュニティ会員による社協発信情報のシェア拡散により、社協活動への理解・周知が促進されることが期待できる。	ICT の活用は今後ますます重要になると思われることから、本計画においては活動方針⑤「ICT などによる福祉情報の発信と活用」を重点項目として設定し、様々な媒体の活用や情報格差の解消に向けた取り組みを進めることとしています。今後、他市の取り組み等も参考にしながら、効果的な活用について、地域福祉活動推進会議や社協内でも検討していきたいと考えております。

10	18	活動方針⑤ ICT などによる 福祉情報の発信と 活用	手段・媒体を増やすことはいいが、特に ICT 活用を前面に出すならば、検索のしやすさや最新情報への更新が不十分だと逆効果になるので注意してほしい。また重点項目として、社協や CSW が情報を収集・発信することの目的や意義、発信すべき情報は何なのか等を示しておくといい。	ご意見として、参考にさせていただきます。
11	18	現状と課題	「現状と課題」に「外国籍住民」についても触れられているが、現状として、どれくらいの外国籍住民がいて、母語や使用言語の種類や割合などの現状について把握されているのか。計画に取り組む際に必要な数字であり、数値が示されているとより意識されやすいのではないか。	母語や使用言語の種類等についての把握はできておりませんが、「参考資料」のページにおいて、各地区ごとの「外国籍住民人口」を記載する予定となっております。
12	19	6年後のめざす姿	“持続可能な取り組みが行われ”とありますが、具体的なイメージが浮かばない。わかりやすい情報発信にしてもらいたい。	「・・・行政等とのより一層の連携により、支援の・・・」と修正いたします。
13	21	活動方針⑩ 身近な地域における 福祉ネットワークの 推進	ICT の項目とも関連するが、新しい生活様式の下での福祉ネットワークの推進をはかるために、社協 CSW が中心となり地域のボランティア、地域福祉サポーター、NPO などに呼びかけ、オンラインを有効活用した情報交換の仕組みを構築されてはどうか。富岡地域の福祉ネットワーク「おっぺす とみおか」では、役員と社協の地域担当 CSW とで LINE グループを立ち上げました。また、所沢地区のオレンジサロンさんでは、Zoom による茶話会を開催するなど、新たな取り組みも行われている。	「新しい生活様式」のもと、これからの地域福祉活動のあり方について、各団体の皆様も非常に悩まれている現状があります。ICT を活用した先駆的な活動事例の紹介（情報提供）なども積極的に進めながら、今後、生活支援コーディネーターや地域の皆様等とも連携し、情報交換・共有のしくみづくりについて検討していきたいと考えております。

14	22	活動方針⑬ ふくし学習 プログラムの充実 活動方針⑭ ふくし学習の場や 機会の拡充	2017年3月に地域福祉サポーター研修で体験した「福祉 SOS ゲーム」は地域福祉の基礎を知る上で役に立った。福祉 SOS ゲームの所沢版を作成し、サポーターや民生委員の研修に役立ててはどうか。	ご意見として、参考にさせていただきます。
15	23	活動方針⑮ 多様な居場所づくり の支援	「【新しい生活様式】に対応した居場所・集いの場の開設・継続を応援します」とありますが、具体的にはどんな形（先進事例等の情報提供、リモート対応機材等購入のための資金補助など）での応援を考えているのか。	具体的な支援につきましては、今後、地域福祉活動推進会議等において協議・検討を進めていきます。
16	16 ～ 23	具体的なとりくみ ・こんなことから はじめてみよう	具体的な参加に関心がある方のため、更なる具体的な参加方法や活動状況の例が示されると良い。まずは「関心はあるが、具体的な活動参加をためらっている」方の第一歩を踏み出せるような内容の検討をお願いしたい。	具体的な活動事例としては、各ページ下段の「こんなことからはじめてみよう」に一例を記載させていただいております。また、活動の第一歩を踏み出せるよう P16 の活動方針①にもあるように、「気軽に参加できる（しやすい）活動」を推進して参ります。
17	17 18 21 23	(活動方針) 全般について	③地域の中で気軽に相談できる場や機会の拡充 ⑥多職種連携における情報共有 ⑫身近な地域における福祉ネットワークの推進 ⑯社会資源の活用と開拓 これらの項目をみると「連携」や「連携強化」をいかに行うかが計画推進の大きなポイントのような気がしますが、具体的にどのように連携を図っていくかが見えません。具体的な方法が見えないのに、6年後の姿を示されても、実現できるのか不安に感じます。	具体的な連携につきましては、今後、地域福祉活動推進会議等において協議・検討を進めていきます。

18	—	全般について	市民の参加と協働による「ふくしのまちづくり」を進めていくため、本計画の内容を多くの方に知ってもらうことも必要と考えるので、一般市民向けの「概要版」、小学校高学年向けの「こども版」を作ると良い。その際、6年後のめざす姿とそれに向けた取り組み（こんなことからはじめてみよう）をイラストで示すなど、目指すゴールと道すじを多くの人が共有できるような工夫がほしい。また、町内会、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、CSW、SC等が何をしているのかはあまり知られていない為、それらを知ってもらう部分もあると良い。	現時点では、「概要版」等の作成予定はございませんが、今後、所沢市地域福祉計画と一緒に周知（PR）をする機会を設けることなどの検討も考えております。また、イラスト化やそれぞれの役割（何をしているのか）について等、工夫することで、より理解度が高まるものと考えております。
19	—	全般について	例えば、「地域の居場所を立ち上げたい」と考えたときに相談に乗ってもらうには、社協のどこに相談すれば良いのか。	まずは、社協の各地区担当CSWにご相談ください。
20	—	全般について	このプランの読み手の想定は、だれを対象にしているのか。市民対象のものとしては、「生活困窮者自立相談支援窓口（あったかサポートセンター）」や「車いすちよい借りステーション」などは、どのような機能を持っているのか文章や単語の表現に配慮がないと伝わりにくい気がする。「ちよい借りステーション」などは、地元商店街の地域貢献活動の一つでもあったのではないか。	計画につきましては、広く市民の皆様、関係団体等を対象に考えております。また、用語の説明につきましては、該当ページ又は用語集（P30 予定）にて説明文を掲載する予定です。
21	—	全般について	第3次所沢市地域福祉計画との連携を掲げ、車の両輪というのであれば、パブリックコメント募集の重なる期間がないと計画案を見比べながら意見表明することができないのではないかと。事務作業等の事情もあると思うが、住民・市民にとって優しくない気がする。	それぞれの体制のもと、策定作業を行っていることから、同時期での意見募集とはなりませんでしたが、各計画の策定にあたり、進捗状況の確認等を行いながら進めさせていただきました。

